

平成23年度 決算報告書

国立大学法人 小樽商科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,468	1,468	-	
施設整備費補助金	-	82	82	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	196	195	△1	(注2)
国立大学財務・経営以外-施設費交付金	17	17	-	
自己収入	1,335	1,356	20	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,297	1,308	11	(注3)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	38	47	8	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	71	49	△22	(注5)
引当金取崩額	-	3	3	(注6)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	3,089	3,171	82	
支出				
業務費	2,804	2,703	△100	
教育研究経費	2,804	2,703	△100	(注7)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	17	99	82	(注8)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	196	195	△1	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	71	40	△30	(注10)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学財務・経営以外-施設費納付金	-	-	-	
計	3,089	3,038	△51	
収入-支出	0	133	133	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していなかった国立大学施設整備費補助金（大学教育研究特別整備費）の獲得に努めたため、82百万円多額となっております。
- (注2) 補助金収入については、当初予定していた設備整備事業において、競争入札により安価に実施できたことにより、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。
- (注3) 授業料及び入学金及び検定料収入については、主に授業料において、当初見込み員数より増加したことにより、予算額に比して、決算額が11百万円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、主として科学研究費補助金の獲得に努め、間接経費を受け入れたことにより、予算額に比して、決算額が8百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、主として寄付金収入が当初の見込みより減少したことにより予算額に比して、決算額が22百万円少額となっております。
- (注6) 引当金取崩額については、引当金による賞与、退職金の支払いに伴い、経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して、決算額が3百万円多額となっております。
- (注7) 業務費については、主として人件費において、退職者数が見込みより少なかったこと、前年度退職者分について一部補充を行わなかったこと、及び物件費において効率的執行及び経費節減に努めたことにより予算額に比して、決算額が100百万円少額となっております。
- (注8) (注1) に示した理由により、予算額に比して、決算額が82百万円多額となっております。
- (注9) (注2) に示した理由により、予算額に比して、決算額が1百万円少額となっております。
- (注10) (注5) に示した理由により、予算額に比して、決算額が30百万円少額となっております。